

地域の会前回定例会以降の動き

令和7年2月5日

新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

1月10日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- 所内電源設備の概要や碍子の役割について説明を受けるとともに、高圧起動変圧器の碍子洗浄作業を見学しました。
- フィルタベント設備の性能や重大事故対策における位置づけなどの概要について説明を受けるとともに、7号機地上式フィルタベント設備の現場確認を行いました。

2 原子力防災訓練（総合訓練）

柏崎刈羽原発の事故を想定した原子力防災訓練（総合訓練）を国、市町村、関係機関と連携して実施しました。

[訓練内容]

- ・ 1月24日 県災害対策本部・柏崎刈羽オフサイトセンター等が連携し、原子力災害時の対応方針を決定する災害対策本部運営訓練等
- ・ 1月25日 P A Z住民を対象にした避難訓練、U P Z住民を対象にした一時移転訓練等（避難退域時検査など）、冬季の孤立地域の発生を想定した除雪訓練等

3 避難路の整備促進に向けた協議の枠組み

1月29日、「原子力災害時の住民避難を円滑にするための避難路の整備促進に向けた協議の枠組み」の第2回会合が開催されました。会合では、原子力災害時における避難路の優先整備について国と協議を行い、前回確認された優先すべき事業の考え方に基づき、原発を中心として放射状に6方向へ避難する経路を確保するため、未改良区間の道路改良、橋りょうの耐震補強、土砂災害警戒区域等における法面对策等の整備箇所について、確認するとともに、調査費用について、国が予算措置することが確認されました。